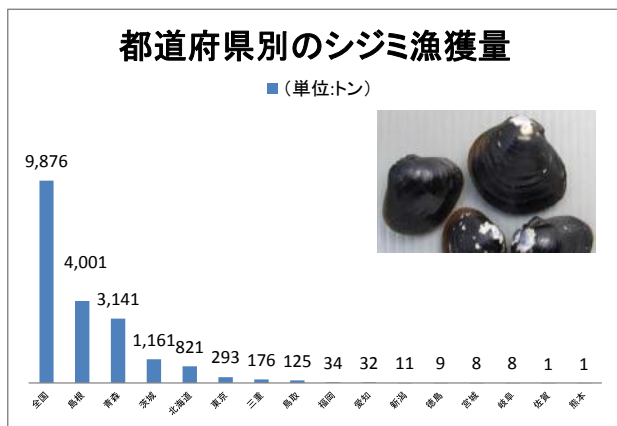


島根県

～シジミ漁獲量日本一と資源保護～



シジミの味噌汁

(出典:平成29年漁業・養殖業生産統計より)

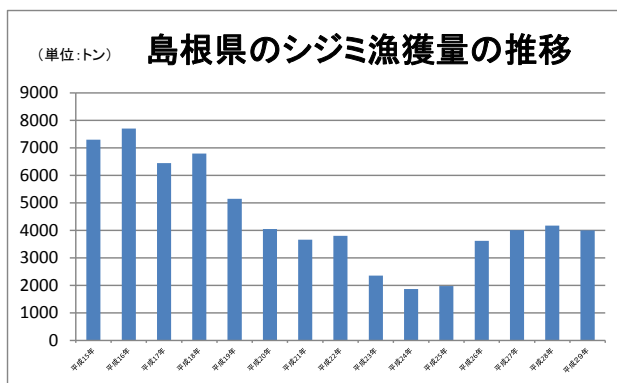
シジミの漁獲量について

「ヤマトシジミ」は、宍道湖を代表する水産物で、1年間で宍道湖で採れる水産物の90%以上を占めています。



島根県で採れるシジミ
のことを紹介するにや～

島根県観光キャラクター
「しまねっこ」
島観連許諾第5268号



(出典:農林水産省「漁業・養殖業生産統計」より)

宍道湖の漁獲方法

① 機械搔き(動力操業)

8～9mのディーゼル機関船に30～40kgある大型の「じょれん」を結びつけ、船の推進力で「じょれん」を引き、シジミを搔きとる漁法。

現在の宍道湖で最も広く行われている漁法です。



② 手搔き

6～7mの船外機船で漁場に移動し、船の上から人力で10kgあまりの「じょれん」を使って湖底を搔く漁法。



③ 入り搔き

漁師さんがウエットスーツを着て、15kg程度の「じょれん」を持って湖につきり、人力で後進しながらシジミを探ります。シジミが多い所では、足の裏にシジミがいることを感じる事が出来るそうです。



漁業のルール

シジミを長く漁獲するために、昭和48年から漁獲規制が行われています。

漁師だからといって自由にシジミを取ることはできません。

シジミ漁業にはきちっとしたルールがあり、破れば厳しい罰則があります。

漁獲は、1人1日約90kgまで。

1週間のうちに3日間、漁を休みます。もし、このルールを破る人がいたら、近くの漁師さんまで、連帯責任で休まなければなりません。

1日にシジミをとっていい時間が決まっています。

漁が禁止されている場所や、手搔きしかできない場所が決まっています。

小さなシジミを取らないように、じょれんや選別機の規格が定められています。



鋤簾(じょれん)

島根県

～家計調査結果～



島根県は四季おりおりの自然にめぐまれています。

最高の旬の味わい！



松江市（まつえし）

さばの購入数量

順位	都道府県庁所在市	単位：g
	全国	991
1位	松江市	1,669
2位	宮崎市	1,642
3位	鹿児島市	1,575
4位	和歌山市	1,530
5位	鳥取市	1,444



出典：「家計調査結果（二人以上の世帯：平成27～29年平均1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量）」（総務省統計局）

シジミの購入数量

順位	都道府県庁所在市	単位：g
	全国	283
1位	松江市	2,527
2位	水戸市	886
3位	秋田市	825
4位	青森市	759
5位	新潟市	673



出典：「家計調査結果（二人以上の世帯：平成27～29年平均1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量）」（総務省統計局）

あじの購入数量

順位	都道府県庁所在市	単位：g
	全国	1,156
1位	長崎市	3,501
2位	松江市	2,867
3位	佐賀市	2,691
4位	山口市	2,502
5位	宮崎市	2,169



出典：「家計調査結果（二人以上の世帯：平成27～29年平均1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量）」（総務省統計局）

松江市の観光スポット

食、観光、なんでも

島根は、魅力いっぱい！



武家屋敷と堀川遊覧



国宝に指定された松江城



穴道湖の夕日

石見・隠岐地域の観光スポット

「石見銀山遺跡とその文化的景観」

環境に配慮し、自然と共生した鉱山運営を行っていたことが特に評価され、平成19年（2007年）、世界遺産（文化遺産）に登録されました。

「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」

2013年（平成25年）9月9日、島根県沖の日本海に浮かぶ隠岐諸島は、太古からの大自然と人の営みが調和して独自の環境が残る貴重な場所として、世界ジオパークに認定されました。

また、2015年（平成27年）11月の第38回ユネスコ総会において、世界ジオパークネットワークの活動がユネスコの正式事業となりました。



世界文化遺産に登録された石見銀山遺跡とその文化的景観（大田市）

ローソク島（隠岐の島町）